



## 2022年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月8日

上場会社名 ミライアル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4238 URL https://www.miraial.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兵部 匡俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 板羽 恒 TEL 03 (3986) 3782  
 四半期報告書提出予定日 2021年6月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年1月期第1四半期の連結業績 (2021年2月1日～2021年4月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第1四半期	2,505	7.3	329	53.0	344	42.1	238	93.9
2021年1月期第1四半期	2,334	△13.2	215	△57.4	242	△55.3	123	△67.7

(注) 包括利益 2022年1月期第1四半期 255百万円 (1,080.3%) 2021年1月期第1四半期 21百万円 (△94.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第1四半期	26.51	—
2021年1月期第1四半期	13.69	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年1月期第1四半期	22,563	19,100	84.7	2,122.15
2021年1月期	22,671	19,025	83.9	2,113.78

(参考) 自己資本 2022年1月期第1四半期 19,100百万円 2021年1月期 19,025百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2022年1月期	—	—	—	—	—
2022年1月期(予想)	—	10.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

(注) 現時点において2022年1月期の1株当たり期末配当金については未定であります。

### 3. 2022年1月期の連結業績予想 (2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,100	7.8	570	30.9	610	25.5	420	△39.5	46.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

(注) 通期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから、開示しておりません。連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。詳細は、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期1Q	10,120,000株	2021年1月期	10,120,000株
② 期末自己株式数	2022年1月期1Q	1,119,428株	2021年1月期	1,119,428株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期1Q	9,000,572株	2021年1月期1Q	8,988,072株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想など将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染拡大が続く中、各国の社会・経済活動が段階的に再開され、全体的に景況感が緩やかに持ち直す状況となりました。

このような事業環境のもと、プラスチック成形事業は、半導体関連製品の需要が堅調に推移し、品種構成の変化、コスト抑制等の影響もあり、前年同期比増収増益となりました。また、成形機事業は、海外を中心に市況は回復基調にあるものの、新型コロナウイルスによる営業活動・検収活動の制限が継続し、前年同期比減収減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,505百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益は329百万円(前年同期比53.0%増)、経常利益は344百万円(前年同期比42.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は238百万円(前年同期比93.9%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

## (プラスチック成形事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は2,230百万円(前年同期比16.4%増)、営業利益は418百万円(前年同期比48.9%増)となりました。

## (成形機事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は343百万円(前年同期比16.1%減)、営業利益は33百万円(前年同期比15.0%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて110百万円減少し、15,536百万円となりました。これは主に、仕掛品の増加112百万円があったものの、電子記録債権の減少240百万円があったこと等によるものであります。

## (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて3百万円増加し、7,027百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減少21百万円があったものの、投資その他の資産の増加22百万円があったこと等によるものであります。

## (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて185百万円減少し、2,650百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加136百万円があったものの、未払法人税等の減少329百万円があったこと等によるものであります。

## (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて3百万円増加し、812百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債の増加5百万円があったこと等によるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて75百万円増加し、19,100百万円となりました。これは主に、配当金の支払い180百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益238百万円の計上があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月期第2四半期につきましては、新型コロナウイルスについて、ワクチン接種率が上昇しているものの、変異株の感染拡大等の懸念材料もあり、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続くものと思われれます。

このような状況の中、プラスチック成形事業は、主要となる半導体業界の需要が、通信機器等の拡大基調に牽引され、堅調に推移すると見込まれる一方で、プラスチック原料等の価格が上昇を続けており、予断を許さない状況となることを見込まれます。成形機事業は、関連する自動車業界、電機業界の需要が緩やかに回復していくことを見込まれますが、新型コロナウイルスの影響により、営業活動等が引き続き制限されることが見込まれ、軟調に推移するものと思われれます。

2022年1月期における第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、売上高5,100百万円、営業利益570百万円、経常利益610百万円、親会社株主に帰属する当期純利益420百万円としております。

また、当社グループの主要製品は、短期間で需要が大きく変化する半導体業界の影響を強く受けるため、通期の業績予想について、現時点では合理的な予想を行うことが困難であることから、未定としておりますが、合理的な予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

詳細につきましては、本日公表いたしました「2022年1月期第2四半期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,151,773	11,246,523
受取手形及び売掛金	2,563,272	2,629,552
電子記録債権	369,934	129,646
商品及び製品	577,222	567,500
仕掛品	551,059	663,716
原材料及び貯蔵品	205,188	246,703
その他	228,754	52,710
流動資産合計	15,647,205	15,536,353
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,143,414	7,132,014
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,895,986	△3,937,703
建物及び構築物(純額)	3,247,427	3,194,310
機械装置及び運搬具	6,356,294	6,160,601
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,857,525	△5,697,518
機械装置及び運搬具(純額)	498,769	463,083
土地	1,593,937	1,593,937
建設仮勘定	796	2,145
その他	5,179,811	5,188,192
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,292,782	△4,235,343
その他(純額)	887,028	952,848
有形固定資産合計	6,227,959	6,206,325
無形固定資産	84,539	87,479
投資その他の資産		
投資有価証券	374,152	408,465
保険積立金	109,329	111,063
繰延税金資産	144,063	133,997
その他	84,092	80,288
投資その他の資産合計	711,637	733,814
固定資産合計	7,024,136	7,027,619
資産合計	22,671,342	22,563,972

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	340,248	477,054
電子記録債務	1,129,674	1,100,762
未払法人税等	430,795	101,031
賞与引当金	221,874	329,259
受注損失引当金	8,740	13,287
製品保証引当金	339	445
その他	704,577	628,676
流動負債合計	2,836,249	2,650,516
固定負債		
退職給付に係る負債	319,654	325,001
役員退職慰労未払金	131,780	131,780
繰延税金負債	54,910	54,815
その他	303,539	301,332
固定負債合計	809,883	812,929
負債合計	3,646,133	3,463,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,111,000	1,111,000
資本剰余金	1,304,187	1,304,187
利益剰余金	18,192,373	18,250,938
自己株式	△1,740,034	△1,740,034
株主資本合計	18,867,526	18,926,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,098	55,418
為替換算調整勘定	942	4,340
退職給付に係る調整累計額	125,641	114,675
その他の包括利益累計額合計	157,682	174,434
純資産合計	19,025,208	19,100,526
負債純資産合計	22,671,342	22,563,972

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
売上高	2,334,529	2,505,735
売上原価	1,741,670	1,795,427
売上総利益	592,859	710,307
販売費及び一般管理費	377,375	380,683
営業利益	215,484	329,624
営業外収益		
受取利息	228	99
受取配当金	269	250
受取保険金	—	4,170
保険返戻金	19,380	—
受取賃貸料	2,635	2,739
売電収入	6,996	9,462
その他	2,242	2,848
営業外収益合計	31,752	19,572
営業外費用		
支払利息	472	—
為替差損	—	1,042
減価償却費	3,508	3,094
その他	819	509
営業外費用合計	4,801	4,647
経常利益	242,435	344,549
税金等調整前四半期純利益	242,435	344,549
法人税、住民税及び事業税	95,744	100,792
法人税等調整額	23,656	5,179
法人税等合計	119,400	105,972
四半期純利益	123,035	238,577
親会社株主に帰属する四半期純利益	123,035	238,577

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	123,035	238,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86,296	24,319
為替換算調整勘定	△1,118	3,398
退職給付に係る調整額	△13,987	△10,966
その他の包括利益合計	△101,402	16,752
四半期包括利益	21,632	255,329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,632	255,329



## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2020年2月1日 至2020年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	不動産賃貸等事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,887,635	408,679	38,215	2,334,529
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28,589	742	—	29,332
計	1,916,225	409,421	38,215	2,363,862
セグメント利益	280,743	39,113	23,542	343,398

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	343,398
セグメント間取引消去	1,090
全社費用(注)	△129,005
四半期連結損益計算書の営業利益	215,484

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2021年2月1日 至2021年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,162,766	342,969	2,505,735
セグメント間の内部売上高 又は振替高	67,628	664	68,293
計	2,230,394	343,633	2,574,028
セグメント利益	418,033	33,234	451,268

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	451,268
セグメント間取引消去	5,026
全社費用(注)	△126,669
四半期連結損益計算書の営業利益	329,624

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度において「不動産賃貸等事業」から撤退しております。